

やさしい昆虫講座 46

「会員さんからの質問です」

木村 裕

会員さんから質問のあった昆虫を2つばかり紹介します。ホームページのカラー版で見るとよく分かります。

質問1：ヒイラギの葉が褐色になって枯れたようになっていては何でしょうか？

回答：葉をじっくりと見てください。春に開いた柔らかい葉の周囲が熱湯をかぶったように黄赤褐色になっていることでしょう。



ヘリグロテントウノミハムシと称する甲虫のお子さまが住み着いた結果です。成虫は2つの赤い目の丸模様の黒い紋付を着ており、一見テントウムシのように見えます。しかし、手を触れようとするとピョンとノミのように跳ね跳ぶのが特徴です。



幼虫は黄色のウジムシのような虫で葉の中に住んでいます。葉の表皮と裏皮の間の狭い隙間に入り込み、内部を食い荒らして空洞にします。そのため、被害を受けた部分は淡褐色になって枯れます。少し注意して観察すれば中にいる虫も透けて見え

ます。住処の環境が悪くなると、足はなくても体を器用に動かして葉から抜け出し隣の葉に移動するようです。



ヒイラギが大好きですが、ヒイラギモクセイも好物のようです。おいしいとは言っていませんがイボタの葉も食用にします。

質問2：木の葉の上に油滴のような物がいっぱい付着し、舐めてみると甘いですが何でしょうか？

回答：通称、甘露またはハニューデュウといって甘い液体です。しかしこれは木の葉っぱからの送り物ではありません。

アブラムシさんやカイガラムシさんからの贈り物？です。木の汁を吸って自分に必要な物を吸収し、不要になった物を排出した残り物です。虫さんが糖尿病を患っているわけではありません。辛党かも？

油滴が葉に付着しておれば、その葉の上方にある枝や葉にアブラムシ又はカイガラムシがいろいろいるはずですが。アブラムシの場合、1枚の葉に100匹くらいはついており、一斉に放出するのでその葉の下におれば霧雨のような感じで落ちてくるのがよく分かります。

